

## 旅客便網を危機前の85%まで回復

### ■カタール航空

カタール航空グループは18日、旅客便ネットワークを危機前の85%の水準まで回復させたと発表した。今夏季スケジュール(2026年3月29日～10月24日)では、ドーハ発の便数が1日140便超、就航地が世界160都市超となった。

地域情勢の混乱によりネットワークの大部分が運休を余儀なくされた今年初め、同社は6月中旬までに危機前の85%まで運航規模を回復させる目標を掲げていた。夏季スケジュールでの復便により、この目標を達成した格好だ。

今後は最新鋭機材を活用し、旅客・貨物双方のネットワーク拡大を進める方針。

また、業務運営と顧客対応の強化に向け、最高執行責任者(COO)と最高顧客責任者(CCO)の2職を新設し、11月1日付でそれぞれアブドゥラ・アリ氏、カルム・レイミング氏が就任する。